

天然ガス等利用設備資金に係る利子補給金

資源エネルギー庁電力・ガス事業部
ガス市場整備室

令和5年度予算額

3.3 億円 (3.5 億円)

事業の内容

事業目的

地方の都市ガス事業者が、天然ガスを安定的に調達するために必要な、パイプラインなどの設備投資に対する負担を軽減することによって、事業リスクの低減、低廉かつ安定した料金、安全性向上、パイプラインの設備による競争環境の整備等を実施し、利用者の利益増進を目的とします。

事業概要

地方の都市ガス事業者が天然ガスを安定的に調達するために必要な設備投資（パイプライン、出荷基地設備、受入基地設備）等に対する負担を軽減するために利子補給を行います。

事業スキーム（対象者、対象行為、補助率等）



※地方の都市ガス事業者が天然ガスを安定的に調達するために必要な設備の例



LNG基地



サテライト基地



パイプライン

成果目標

平成22年度から令和12年度までの事業であり、競争的な市場環境の整備によるガス利用者の利益増進を図るため、ガス導管の敷設距離について、令和4年度までに累積約27.6万km、事業終了の令和12年度までに累積約29万kmを目指します。

また、天然ガスへの燃料転換による環境負荷の低減を図るため、令和4年度までに約416億m³、事業終了の令和12年度までに約470億m³のガス販売量を目指します。